2021年8月23日

立憲民主党　代表　枝野幸男　様

戦争させない市民の風・北海道

代表　上田文雄　川原茂雄　山口たか

**2021年衆議院議員総選挙で菅自公政権に終止符を打つために**

**立憲民主党がすべての立憲野党との共闘推進の姿勢を明確にされることをもとめます**

私たちは2016年4月の衆院道北海道5区補選以来、平和を守り、くらしを守るため、市民と野党の共闘をすすめる活動を続けてきました。そしてこの間の選挙において共闘を重ねる毎に、立憲野党各党間の、また立憲各党と私たちとの信頼関係を深めてきたと考えています。この信頼関係構築に民主党・民進党・立憲民主党が継続して向き合ってこられたことに心から敬意を表します。

特に2017年の衆院選を前に立憲民主党が立ち上がった時の感動を私たちは忘れません。「まっとうな政治を」「一日も早く原発ゼロへ」「立憲主義を回復させる」「ボトムアップの政治を実現する」。明確で清新な主張が有権者の心を打ち、北海道では立憲民主党、日本共産党、社会民主党、市民の風の協議により北海道12の選挙区すべてで統一候補が実現し、7人の立憲民主党の議員を誕生させました。

今、菅自公政権の支持率は低下を続け、国民は自助を強要する政治にうんざりし「まっとうな政治」を渇望しています。野党が政権交代をめざすのは事ここに至っては国民に対する義務です。

では政権交代への必須条件とは何でしょうか。私たちは、それは「野党共闘」であり、菅自公政権とは明確に違う、国民の命とくらしに寄り添った政治の方向性の提示、つまり統一候補による分かりやすい政策の提示であると考えます。しかるに今年4月に行われた北海道2区補選を通して、またここ数か月の間に枝野代表が発した共産党とどのような形で政権をかたち作っていくかについての言葉の中に、私たちは立憲民主党の、地域に根ざし成長してきた野党共闘に対する姿勢の「揺らぎ」を感じ、有権者は「野党も信頼できない」と感じ取っているのではないでしょうか。衆議院総選挙に向けて立憲民主党には、何としてもこの「揺らぎ」を払拭し、野党協力を前進させることのできる環境を整えていただきたいと思います。

立憲民主党は野党第一党であり、衆議院総選挙で政権交代を実現するには、立憲民主党に野党共闘の真ん中で、ほかの立憲野党への敬意をもちながら頑張ってもらうことがどうしても必要です。

立憲民主党がすべての立憲野党との共闘推進を明確にされ、2021年衆議院議員選挙での勝利のために立憲野党間の協議を促進されること、菅自公政権に終止符を打つために力強く前進されることをここに切望し、要請いたします。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上